

## 自立のための基礎力

教科等横断的に育成を目指す資質・能力「自分づくりに関する力」

- ・将来自立していくために、中学生の時から身につけていきたい基礎的な力。
  - ・中学校在学中はもちろんのこと、大人になってからも大切になる力。
- 「想像する力」「やりとげる力」の2つの力と、7つの能力要素により構成される。

身につけたい力	身につけたい力の定義	能力要素	力が発揮できた例(能力要素の定義)
「想像する力」	実際には目に見えない物事について頭の中で考える(イメージする)力。 今の自分の行動がどのような結果につながるのか考えることのできる力。	1 先を読む力 (計画力)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状を分析するための情報収集や分析ができる。</li> <li>・作業を洗い出したり優先順位をつけたりすることで実現性の高い計画を立てることができる。</li> <li>・計画の進み具合や不測の事態に応じて計画を修正できる。</li> </ul>
		2 伝える力 (発信力)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体例や客観的な資料等を使って自分の考えを相手にわかりやすく伝えることができる。</li> <li>・聞き手、読み手の気持ちを想像しながら自分の考えを相手にわかりやすく伝えることができる。</li> <li>・自分の意見を自分なりに整理して相手にわかりやすく伝えることができる。</li> </ul>
		3 聴く力 (傾聴力)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し手の気持ちを想像し、相づちや共感などにより相手が話しやすい状況を作ることができる。</li> <li>・自分の意見を持ちながら、他人のよい意見も受け入れることができる。</li> <li>・相手がなぜそのように考えるかを相手の気持ちになって想像することができる。</li> </ul>
		4 関係を理解する力 (状況把握力)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の役割を把握して行動することができる。</li> <li>・自分にできること、他人ができることを的確に判断して行動することができる。</li> <li>・周囲の人の状況(人間関係や忙しさ等)に配慮してよい方向へ向かうように行動することができる。</li> </ul>
「やりとげる力」	自分が行うべきことを最後までやりとげる力。	5 進んで取り組む力 (主体性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がやるべきことを見極め、進んで取り組むことができる。</li> <li>・自分の強み・弱みを把握して、前向きに取り組むことができる。</li> <li>・自分なりに判断し、他者に流されず行動することができる。</li> </ul>
		6 あきらめない力 (実行力)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴールの実現に向かってねばり強く取り組み続けることができる。</li> <li>・失敗をおそれずにとにかくやってみようという気持ちを持って取り組むことができる。</li> <li>・強い意志を持ち、困難な状況から逃げずにとりくみ続けることができる。</li> </ul>
		7 ルールや約束を守る力 (規律性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解している。</li> <li>・相手に迷惑をかけたとき、適切な行動をとることができる。</li> <li>・礼儀が求められる場面で、粗相のないように正しく行動することができる。</li> </ul>